

Vol.42

院長 関の

Face to Face

2011年 12月 1日発行



「むち打ち」は正確には外傷性頸部症候群といいますが、頸(くび)がムチのようにしななって発生することから「むち打ち症」と呼ばれています。

この症状の多くは交通事故などの追突事故によって発症します。むち打ち症の起こり方はおよそ次の三つに分類されます。正面からの追突によるもの、側面からの追突によるもの、後方からの追突によるもの

## 「むち打ち症」は何故起こる？…追突の種類と症状



の正面からの場合は衝突直前に事故を予知しやすいため、首の筋肉が緊張し、衝撃を和らげることができるので比較的軽度です。首はまず前に強く曲げられ、その後後ろにしなります。その側面からの場合はまず追突された側につきくほど強く曲げられ、次に反対側にしなります。角度によっ

ては複雑な損傷を受けます。の後方からの場合は事故をまったく予知していないことが多く、首の筋肉は弛緩していますから、のように衝撃を和らげることができません。首は後ろに強くしなってから前に曲がりま受けけるダメージは大きくなります。事故の九割がこのタイプです。

もともと人間の首の動きは前に60度まで、後ろと左右は50度まで、と限りがあります。この範囲を超えてしまつと頸周辺の組織が損傷を受け、症状が出るのです。

関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・鍼灸院・  
整体院 院長

代替医療の総合治療院としての  
確立を目指す

タイトルの「face to face」患者  
さん自身と向き合って患者さんの  
症状と戦うことを願ってつけ  
た \* 毎月1日の発行です